

月日	発表者	問合せ先	
		電話番号	担当者
令和2年10月28日(水) 午後2時	関西広域連合広域産業振興局ものづくり支援課 (大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課)	06-6210-9471	課長補佐 寺浦 事務官 中島

「産業技術支援フェア in KANSAI 2020-モノづくりで明日の日本を照らそう!-」の開催

広域産業振興局では、国の産業技術総合研究所や関西広域連合域内公設試など12の工業系試験研究機関が一同に会し、SDGs（持続可能な開発目標）など社会課題の解決に資する研究成果等を発表する「産業技術支援フェア in KANSAI 2020-モノづくりで明日の日本を照らそう!-」を開催します。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、Web上での開催となり、特設ホームページにおいて、「環境」「エネルギー」「暮らし」などの分野から76の研究成果等をeポスター展示としてWeb上に掲載します。

また、12月4日には、ポストコロナ、アフターコロナを見据えた技術開発などについて、企業・大学、関係機関などの有識者によるWEB講演会を実施します。

本事業を通じ、関西の公設試を中心とする産官学金のネットワークを発展させ、関西の多彩なモノづくり力を活かしながら、新しい時代を照らす革新的な価値の創造を目指します。

今回のフェアが、事業者や関係者にとって、新たなビジネス創出の場となるよう、皆様のご参加をお待ちしております。

- eポスター展示期間：令和2年11月27日（金）～12月18日（金）
- WEB講演会ライブ配信日：令和2年12月4日（金）
- お申し込み：サンソウカンホームページ <https://www.sansokan.jp/>からお願いします。
- 問合せ先：お申し込みに関して
大阪産業創造館イベント・セミナー事務局
〒541-0053 大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館13階
電話：06-6264-9911 FAX：06-6264-9899 E-MAIL：ope@sansokan.jp
受付：10：00～17：30（土日祝除く）

内容に関して

産業技術支援フェア in KANSAI 事務局 E-MAIL：sdgs-kansai-ml@aist.go.jp

■主催：

国立研究開発法人産業技術総合研究所、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、関西広域連合、公益財団法人大阪産業局、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会

■後援：

近畿経済産業局、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 関西支部、国立研究開発法人 科

学技術振興機構、独立行政法人 製品評価技術基盤機構、独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部
独立行政法人 工業所有権情報・研修館 近畿統括本部、独立行政法人 日本貿易振興機構 大阪本部
一般財団法人 日本規格協会、公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
一般財団法人 大阪科学技術センター、関西 SDGs プラットフォーム、株式会社池田泉州銀行
株式会社りそな銀行、大阪信用金庫

■参加公設試

国立研究開発法人産業技術総合研究所	地方独立行政法人大阪産業技術研究所
福井県工業技術センター	滋賀県工業技術総合センター
滋賀県東北部工業技術センター	京都府中小企業技術センター
地方独立行政法人京都市産業技術研究所	兵庫県立工業技術センター
奈良県産業振興総合センター	和歌山県工業技術センター
地方独立行政法人鳥取県産業技術センター	徳島県立工業技術センター

※講演の内容、eポスターの内容については別添資料を参照してください。

■取材について

事前申込制としているため、取材にお越しいただける場合は下記までご一報ください。

E-MAIL：sdgs-kansai-ml@aist.go.jp

産業技術支援フェア in KANSAI 事務局（産業技術総合研究所 産学連携推進室）谷垣

産業技術支援フェア in KANSAI 2020—モノづくりで明日の日本を照らそう！

WEB 講演会・eポスター展示内容一覧

■WEB 講演会

午前の部：10時15分～12時00分

開会挨拶 産業技術総合研究所 関西センター所長 角口 勝彦

1. 大阪・関西の魅力と万博から未来へ～ポストコロナの世界経済を踏まえて
株式会社日本総合研究所調査部マクロ経済研究センター所長 石川 智久 氏
2. 異次元の高熱伝導複合素材で新産業革命に挑む
株式会社サーモグラフィティクス 代表 竹馬 克洋 氏
3. 海水でも生分解性をもつ生分解性プラスチック用可塑剤について
大八化学工業株式会社 取締役 徳安 範昭 氏
4. 大阪・関西万博から生まれるイノベーションについて
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 副事務総長（理事） 森 清 氏

午後の部：13時30分～15時45分

5. 陸（おか）に上がった日立造船～生き残る者は変化し続ける者、アフターコロナを見据えて～
日立造船株式会社 相談役 古川 実 氏
6. ものづくり中小企業がチャレンジする産学官連携～N95マスクの共同開発がもたらした3つの成果～
株式会社クロスエフェクト 代表取締役 竹田 正俊 氏
7. 健康寿命延伸に向けて何をすべきか？産学官連携に期待すること
国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科 教授 神出 計 氏

閉会挨拶 大阪産業技術研究所 理事長 中許 昌美

■ eポスター展示内容

展示期間：11月27日（金）～12月18日（金）

環境		
1	美しい水環境のための廃水・廃棄物処理	大阪
2	イトミミズで余剰汚泥を大幅削減	和歌山
3	資源循環を指向した高機能材料創製	大阪
4	バイオマス処理用酵素の高機能化	大阪
5	セルロースナノファイバーを粉末化する	兵庫
6	硬質皮膜を除膜して金属材料をリユース	京都市
7	レアメタルフリー薄膜トランジスタの開発	大阪
8	5G時代の電磁ノイズ対策と高周波用材料	大阪
9	発電する布：太陽光発電テキスタイル	福井
10	摩擦攪拌接合により異種金属接合を高度化	大阪

11	新発想で射出成形品の外観不良を改善	大阪
12	クロムフリー新規黒色ニッケルめっき	京都府
13	鉛フリーはんだの耐久性向上を目指して	大阪
14	高機能素材を活用した製品開発支援	徳島
15	らせん状に配列した細孔を有する炭素材料	大阪
16	紫外透過性を有する低融点ガラス	産総研
17	ハロゲンフリー環境調和型エポキシ樹脂	大阪
18	ナノポーラス耐熱性高分子	大阪
19	超硬合金の定量分析技術の確立	大阪
20	質量分析を用いた迅速高感度光学異性体分析	大阪
21	赤外・ラマン分光法で化学反応のその場観測	大阪
22	LED サポートセンターにおける開発支援	徳島
23	ナノサーチ複合型顕微鏡による材料開発支援	京都府

エネルギー		
1	新電池技術創作工房	産総研
2	安価で安全な Na イオン電池を目指して	産総研
3	固体でも液体でもない電解質	産総研
4	次世代の電池材料開発に向けた分析技術	産総研
5	電解法による金属空気二次電池用触媒の創製	大阪
6	断面加工で全固体電池内部を観察	大阪
7	高効率なエネルギー貯蔵・変換用触媒	産総研
8	固体電解質向けインピーダンス測定システム	滋賀
9	熱発電を用いた IoT センサー電源	産総研
10	磁界振動発電による自立型電源	産総研
11	近赤外光を透過する太陽電池	産総研
12	有機薄膜太陽電池の性能向上を実現	大阪
13	太陽光の高効率利用を目指した波長変換材料	産総研
14	DED 方式金属 3D プリンタによる積層造形	滋賀
15	高強度アルミニウム合金の金属 3D 積層造形	大阪
16	プラスチック容器で超高速浸炭を実現	大阪
17	鉄鋼とアルミニウムの炉中ろう付	大阪
18	衝撃を吸収する多孔質マグネシウム	鳥取
19	セラミックス・金属表面のナノ構造修飾	大阪
20	プラズマを用いた炭素材料の窒化技術	滋賀
21	ダイヤモンド結晶大型化とデバイス性能実証	産総研
22	カーボンナノチューブを用いた導電性樹脂	大阪
23	電着樹脂含浸法による CFRP 構造の軽量化	大阪
24	ロボットを協調動作させる模擬生産ライン	大阪

暮らし		
1	サワラで煮干しを作っちゃいました	鳥取
2	迅速かつ効率的な醸造用酵母の交配技術	産総研
3	食品由来物質でクロム染料を代替	大阪
4	微生物由来バイオフィルム抑制物質の探索	大阪
5	生体セラミック分散金属基複合材料	大阪
6	国産の新規ゲノム編集法の構築	産総研
7	マクロファージを活用して組織修復を促進	産総研
8	ストレスの評価を可能にする脂質酸化物	産総研
9	単一細胞のサイトカイン分泌を実時間計測	産総研
10	デジタルダミーを活用した健康サービス	兵庫
11	低吸着樹脂で医療・バイオ分析の高度化を実現	大阪
12	過硝酸を用いた新しい殺菌技術	大阪
13	デジタルヒューマンモデルによる福祉用具評価	大阪
14	フィルムに印刷した配線の屈曲疲労特性評価	大阪
15	非平面ホログラフィック光学素子	大阪
16	5軸加工技術の普及に向けた取組み	大阪
17	ソフトアクチュエータとソフトセンサ	産総研
18	セラミックスと金属を簡便に接合	大阪
19	軽くて曲がる使いやすい導波管	福井
20	ストーリー（理由）がある麻織物「ひいろ」	滋賀東北
21	無料流体解析ソフトでバルブ性能を簡易予測	滋賀東北
22	筆やブラシの触り心地を客観評価	京都市
23	CNF 複合化によるアクリル樹脂の性能向上	奈良
24	紙ラベルにガスバリア性を付与する	鳥取
25	植物抽出物の機能性を AI で予測する	和歌山

連携・支援		
1	京都市産業技術研究所による事業化支援	京都市
2	金属チタンを基材とする太陽電池の共同開発	大阪・奈良
3	誰もが利用できる AI 向けクラウドサービス	産総研
4	イノベーション創出支援組織 関西・共創の森	—